

・・・令和7年度総会の総括・・・

風と雨の強い、この時期としては幾分気温の低い5月17日土曜日の昼下がり久木会館で久木小学校区住民自治協議会 2025年度総会が開催されました。

前途多難な道のりの暗示か、はたまた雨降って地固まるための雨と考えるのか。出来れば後者であってほしいし、そうなるよう皆さんと今後とも協力し、次期総会時にそのように評価されたいと思い、努めてまいり所存です。

市長はじめ多くの来賓の列席を頂いた。

他の住民協の総会などを見ておられる市長はじめ来賓の方々に強いインパクトを与えることの出来た総会であったかと自問してみますに議事進行の不味さもあり多々反省事項もあったと思います。提案しました議案書ですが何回かの見直しを数回の役員会や役員連絡会等で行ってきましたが、しかし当日に議案書の訂正の為の差し替えや字句の修正をお願いする事となったのは残念でした。

本来議案書は役員会で承認されて、提案するものであり総会の場での議案書の修正はあり得ません。誤字脱字に対しても、です。

質問に対しての回答で議案書が修正されることは多くの質問者の見解がありますのでそれは討論の後認められてしめるべきです。ための議案書（案）です。

その第1号議案から第6号議案まで審議し承認されました。

2025年度（令和7年）の活動方針が認められました。進むべき目標が示されました。

益々の皆様方のご協力、よろしくお願いいたします。



校区住民協 代表 山崎 徳次郎

久木小学校区住民自治協議会

・令和7年度（2025年）総会議事録

開催日時・場所： 2025年5月17日（土）14:00～16:10 久木域活動センター（久木会館）

出席者：会員出席29名 委任状18名 議決権数47/議決権総数75

来賓：桐ヶ谷市長・市民協働部（部長・次長他）福祉部（次長他）議員（真下議員・高野議員・江淵議員）中部・西部地域包括支援センター・社会福祉協議会 久木中学校校長、久木小学校教頭

配布資料：事前配布の総会資料

総合司会：長嶋啓

長嶋啓氏の総会司会のもと、市長挨拶、来賓の紹介に引き続き、議長の山崎徳次郎氏を選任、校区住民協規約第 21 条により総会成立することを確認。市長のメッセージ（別項参照）に引き続き議事審議に入った。

議事：第 1 号議案～第 3 号議案までの 2024 年度報告については挙手により承認された。

第 4 号議案からの 2025 年活動計画の中では予算案（資料 16 頁）の数字に修正箇所があり、後日差し替えられる。また役員選任の件（資料 18 頁）で名前表記の訂正があった。・増子俊夫→俊雄、以上審議採決の結果、すべての議案について挙手により可決された。

参加会員からの提案：ホームページの立ち上げの計画は大変良いと思う、課題が多いとおもうので焦らずに 5 年計画くらいのプロジェクトで息の長い計画を。（久木・勝山さん）

参考：市長メッセージの概略

- ◆ 令和 7 年も引き続き、子ども達の教育には力を入れる。支援教室の設置、人員配置を手厚くする。学校に行くが教室に入れない子ども、学校に行かれない子ども、フリースクールなら通える子ども、フリースクールにもどこにも居場所を持ってない子どもへの支援体制ならびに学校の中での様々な課題についても行政は力をつくす。
- ◆ 公共交通に関して：協議会に専門の大学教授を座長を招き検討を重ねる。
- ◆ はげ山の取得に向け動いている。9 月に契約が完了するように、また令和 9 年に開園ができるような予定を組んでいる。
- ◆ 小坪漁港・漁業の活性化について：大きな箱ものをつくるのではなく、漁師の番屋 10 軒ほど立てる。この基本計画を作り始める。
- ◆ 防災の備蓄品の充実。3 日間 72 時間をのりきるために準備する。（トイレ、水、食料）防災に関しては地域防災の力とともに準備していきたい。

令和 7 年 5 月度役員会

開催日時と場所：2025 年 5 月 3 日（土）13：00～14：50 久木会館

出席者：17 名（内役員 13 名）：

議題

5 月 17 日総会に向けての確認。

① 当日の受付担当：新倉、小林、勝山

② 会員総数の確認・・・75 名であることを確認。

（5 月 3 日現在、会員名簿は総会後に整理する。）

総会出席者の確認は小林さんがカウントして司会長島さんに報告する。

③ 総会の流れ・・・会長挨拶後、総会司会者として長島さんを紹介。以後次第にそって事務局、各部長、会計（監査）が発表。

④ 来賓に関して・・・市長出席。他招待者：福祉部：堀田次長他 3 名、市民協働部：岩佐部長、栗原次長、小野田係長、防災安全課：鈴木課長、社協：岸原会長（欠席）平山さん
西部地域包括支援センター、中部包括支援センター、
市会議員：真下議員 高野議員 江淵議員、沼間池子小坪小学校区住民協会長

⑤ 資料の差し替え・・・P17 久木会館 2025 年度収支予算書に修正があるため総会当日差し替え資料を配布する。

⑥ 総会議事録に関して・・・議事録の承認に関して立会人の承認が必要か否かの意見交換があったが、通常通り議事録は会長、事務局の確認でよいことになった。

⑦ 石井事務局長より 2024 年度の主軸となった活動「防災と人とのつながり」について、また 2025 年度の活動の目玉の一つとして「ホームページ作成」についての説明があった。総会時の総括として中心の議題となる。

《寄稿》

人とのつながりは今すくにも

2025.2. 駄洒落栖人

横須賀市立K小の入り口の鉄の門は、保安上、歩いてきても車で来ても自分で開け、そして自分で締めます。車に乗ってくると車を急な坂に止めて開けに行きます。

ついこの前、門の前に車を止めて降りました。門の横に座ってスマホをいじっている工事の男性の方がいました。

「何されているんですか？」私の明るい声
かけに

「いや、ちょっと検索していて」

「そうですか」

そんなやり取りをして車に戻るとその方が、

「閉めてときますよ」。

わお、なんとありがたいこと、笑顔で私、「ありがとうございます。助かります」はっきりと答えました。親切をありがたく受けました。駐車場に入れて遠くの門のほうを見ると女性が自分で鉄の門を閉めていました。その工事の方はまだ座っていました。

つい昨日のことです。逗子市にこの4月から仕事をいただき、働くことになりました。この歳で仕事してくれと言われ感謝感激です。

近隣の施設にトップに連れられてあいさつ回り。

その一つの施設に行った時のことです。「この施設の館長です」と言われて紹介して下さった方が「わあ、細野さん！！」って、抱きつかんばかりに近寄り握手。

「いやいや、ご無沙汰です。10年になります。あの時は下っ端でしたが今は責任ある役割で」って早口で。私が思い出す前に、喜んでくださった。

「ああ、Tさん。大きくなってなんて失礼ですが、あの時は若僧でしたものねえ」私もしっかりと思い出して、固く握手しました。仕事、連携取りやすくなるよなあってづくづく思いました。

私はこの歳になってこういうことが良く起きます。天に感謝しています。縁を大切に繋がりをその時その時に大事にしてきたことが今の自分を支えてくれているように思えてなりません。

どうぞ今から、そんな人間関係を造り始めてください。幸せが付いてきますから。

校区住民協 監事 細野 裕

《レポート》

発災時に備えてポータブル蓄電池を日常から活用する

鈴木 為之（山の根在住）

軽量・小型のポータブル型蓄電池（＋ソーラーパネル）の普及が進んでいます。

用途は、①災害対策（停電対策）、②節電（省エネ、電気料金の節減）、③アウトドア（車載）等が考えられています。

実際に活用してどんな具合なのか、私の実用例を紹介しましょう。

使用しているものは、ジャクリー社（jackery）のポータブル蓄電池 1000new（1KW 容量）とソーラーパネル 200W（100W パネル×2）の組み合わせ。

購入した目的は災害発生時の停電対策ですが、常用して消耗するものではなく日常で使っておくのが無駄のない活用で、いざの時すぐに役立てられるので、次のような使い方をしています。家庭の商用配線とは無関係の別配線（オフグリッ

ド）で居間の照明（10W の LED ）及び PC の電源として常用。蓄電池は居間に置き、パネルは2階ベランダに下げてあります（写真参照）。

蓄電池＋ソーラーパネルを使ってみたの結果を一例として示すると次の通りです。

照明は1日8時間、PC5時間程度の使用で蓄電池の電力使用量は、蓄電池容量の大凡20%。パネルの発電量は、5月初旬の晴天の日で蓄電池容量の約40%（但し、晴天の日でも発電量にかなりの大小があり小の時は30%、大の時は50%程度）。パネルは西南西方向に45度程度の角度をつけて



設置。パネルに太陽光の当たる時間は、同じ時期で11時から午後4時位までの約5時間程で、あまり良い条件ではありません。パネルの発電量は日照の条件によって変わってきます。太陽光が一番よくあたる南向きで角度は水平から30度、照射の時間が長く日陰を作らない場所に置けば、同じ季節でも1.5～2倍程度の出力が期待できそうです。

仮に、発電量が蓄電池容量の40%（2.5日でフル充電）、充電される晴天の日が半分とすれば、1日の平均の発電量は20%となるので、晴天が少ない季節にはある程度セーブしての使用となりそうです。

但し災害対策用なので、災害発生時に蓄電量が少なくならないよう、最低50%の蓄電量を維持しながら使っています。

照明と情報機器の電力確保を主な目的にしてはいますが、定格出力が1500W（最大3000W）あるので、電子レンジを含めてほぼすべてに家電製品に使用できます。

経済効果はどうか・・・前記の条件（1日の平均発電量が蓄電池容量の20%）でパネルがフル活用されたとして5日でフル充電（1KW）、6KW/月、年換算で72KW/年の発電量、¥35/1KWとすれば¥2520/年程度の効果となります。この使用条件ではよい経済効果とは言えません。日

照の条件を良くして発電量を増やすか、パネルを増やして（100W×4枚迄可能）蓄電池の使用を増やすことで経済効果を上げることができます。

炭酸ガス削減量はどうか・・・炭酸ガス発生量0.6kg/1KW 発電量とすれば、上記の条件で43kg/年の炭酸ガス削減となり、成長した杉の木5本が年間吸収する炭酸ガス量に相当します。但し、蓄電池やソーラーパネルの製造や流通の過程で相当量のガスが発生しているので、実際の効果は不明です。

2～3KW 容量のポータブル蓄電池が比較的安価に入手できるようになっているので、ソーラーパネルと組み合わせて、使用電力量を考慮の上（小電力の使用では有効に使用される電力の比率が低下する）災害時の避難所の照明に活用することが考えられます。。

カタログデータは以下の通りです。

★蓄電池：リン酸鉄リチウム型、定格容量1070W、定格出力1500W（瞬間最大3000W）、重さ10.7kg、大きさ33×22×25cm、4000回の充放電で容量70%維持、10年間使用可、殆ど家電使用可、ソーラーパネルは400W迄接続可。

★ソーラーパネル：ピーク電力100W、大きさ展開時122×55×2cm・収納時61×55×3.5cm、重さ3.6kg、防水Ip68。

編集後記

売り切れ御免の三浦スイカ・・・今年も暑い夏となりそうである。夏になると冷やしたスイカが旨い。住民協では、この時期スイカを中心に三浦の夏野菜を7月の朝市で販売している。ここの処、開店前から人が並び30分前後で仕入れたスイカが完売してしまう、今年は7月13日（土）にスイカを目玉に、久木会館前で三浦農家から仕入れた新鮮な美味しいスイカを例年より多く仕入れて安く販売したいと考えている。

冬・春の三浦の大根、キャベツはブランドとなって首都圏に売られているが、夏のスイカも有名である、三浦半島は東京湾と相模湾に囲まれ、温暖な気候とミネラルを多く含む土壌が露地野菜作りに適した環境であると云われている。久木住民協では三浦の生産農家との調達ルートを開拓し、「得てして手薄になりがちな準地元である逗子の皆様に美味しく新鮮な三浦スイカを今年もお届けしたい。」と、小玉、中玉、大玉と切り売り販売も検討している。乞うご期待

事務局長 石井 達郎

・・・西瓜朝市・・・

毎年ご好評を頂いている三浦西瓜の朝市を下記の要領で開催します。

7月13日（日）9：30～
久木会館・玄関ポーチ
地産野菜の併売を予定。